

長野の林業

No.
380

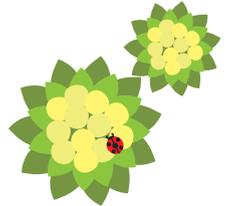
特集

令和3年度長野県ふるさとの森林づくり賞の受賞者が決定しました

トピックス

- ・令和3年度中部森林技術交流発表会を開催
- ・ドラム缶式精油採取装置の普及状況と今後の展開
- ・新たな長野県林業士を認定しました

県森連だより



里山に春を告げる梅の花です。凛と咲く花弁から冬に秘めた生命力を感じます。
(中川村陣馬形山にて)

令和3年度長野県ふるさと賞の受賞者が決定しました

本県の森林・林業の振興に貢献され、優れた実績をあげられた方の功績を称える「長野県ふるさと賞」の受賞者が決定しました。例年、長野市内で表彰式を開催していましたが、今年度は推薦のあった地域単位で賞状の交付等を行います。

今年度のふるさと賞は、故島林づくり大賞は、故島崎洋路様(伊那市)と田崎真也様(静岡県熱海市)が受賞されました。

島崎洋路様は、信州大学の教官として長年にわたり林業の研究・教育に携わり、保残木マーク法や後に全国に広がった列状間伐を提唱され、日本全国の手入れが停滞している人工林の解消にご尽力されました。平成6年の定年退官後は、伊那市

横山区に山小屋を建てられ、「島崎山林塾(研究所)」の看板を掲げ、担い手の確保が課題となっている林業界において後継者育成に大きく貢献されました。島崎氏の指導を受けてプロとなった林業家は、「島崎山林塾企業組合」や「NPO森の座」等の個人事業主



森林整備の指導をされる島崎洋路様

の共同体を立ち上げるなど、その後継者の輪は県内に留まらず全国に広がっています。

田崎真也様は、平成13年から長年にわたり、本県の森林整備に多額の寄付を行われています。これまでの寄付の総額は10,000千円を超え、寄付を財源に

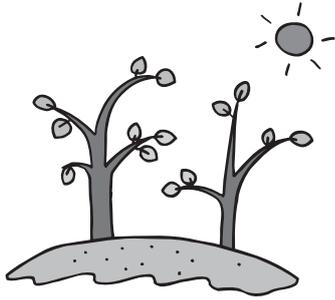


田崎真也様の寄付を財源に森林整備を行った「グレースの森」(伊那市高遠)

県下19市町村24箇所、森林所有者と山仕事に意欲のあるI・Uターン者など、多様な担い手が一体となって森林整備が行われました。当事業により整備された森林「グレースの森」は、地元の子供たちの野外活動フィールドとして活用され、山の恵みに触れる場となるなど、本県の森林・

林業の健全な発展に大きく貢献されました。

この他に長野県知事賞として、所有する学校林で野生鳥獣の観察会や木工体験を行うなど、森の恵みを活かした自然体験型教育を推進されている学校法人いづな学園様(長野市)、地元木曾産の木材をふんだんに使用し、町民懇談会や中高生とのワークショップ



を開催するなど幅広い世代の意見を取り入れながら大規模な木造新庁舎を建設された木曾町様、県産材を活用した木造校舎を建設され、木の温もり溢れた豊かな学習環境による質の高い学校教育を実践されている学校法人豊野学園様（長野市）、地域の里山で森林整備を実施し、間伐材を利用した薪の生産やキノコ栽培、炭焼き講習会の開催など幅広い活動を継続されているさわそこ里山資源を活用する会様（上伊那郡辰野町）が受賞されるなど、14の個人・団体が受賞されました。受賞された皆様、おめでとうございます。

なお、受賞された皆様は下記のとおりです。（敬称略）

【森林政策課】

賞名	受賞者名	所在地
ふるさとの森林づくり大賞	島崎 洋路	伊那市
	田崎 真也	静岡県熱海市

【森林づくり推進の部】

賞名	受賞者名	所在地
長野県緑の基金理事長賞	佐久市大沢財産区	佐久市
	高野 忠房	東筑摩郡麻績村
長野県特用林産振興会長賞	林 孝夫	岡谷市

【森林環境教育推進の部】

賞名	受賞者名	所在地
長野県知事賞	学校法人 いいづな学園	長野市
長野県教育委員会賞	西村 豊	諏訪郡富士見町
長野県緑の基金理事長賞	千曲市立 五加保育園	千曲市

【信州の木利用推進の部】

賞名	受賞者名	所在地
長野県知事賞	木曾町	木曾郡木曾町
	学校法人 豊野学園	長野市
長野県木材協同組合連合会理事長賞	城齒科クリニック	飯田市

【長野県森林づくり県民税活用の部】

賞名	受賞者名	所在地
長野県知事賞	さわそこ里山資源を活用する会	上伊那郡辰野町
長野県森林組合連合会長賞	糠地生産森林組合	小諸市
	離山を守る会	須坂市



令和3年度 中部森林技術交流発表会を開催

中部森林管理局管内の森林・林業関係者が、日頃から取り組んでいる試験研究や体験活動等を発表する「中部森林技術交流発表会」を、令和4年1月26日と27日にかけて開催しました。

本年度もコロナ禍により、局と発表者とのWEB会議システムで結び、発表から審査結果までをオンラインでライブ配信する方式での開催となりました。

今回も多くの方々の協力を得て、民国合わせ22課題の発表があり、1日目の国有林の部(17課題)からは、次の3課題を優秀賞に選定しました。



発表会場(配信拠点)

【中部森林管理局】

『天然力を活用した再造林について』
金沢山ヒノキ育成複層林モデル林』

南信森林管理署&信州大学
『木曾ヒノキ天然林における種子調査中間報告』

木曾森林管理署
『檜皮の森』森林整備協定の取組について』

木曾森林管理署南木曾支署&全国社寺等屋根根工事技術保存会

2日目の民有林・学生の部(5課題)の受賞者と受賞課題は次のとおりです。

○民有林部門

(森林・林業振興賞)

・長野県北アルプス地域振興局

出口栄也さん

『ドローン画像を活用した施業提案書等の林業普及指導員の支援の取組』スマート林業技術を活用することで、これまでより低コ

ストで説得力のある施業提案書が作成でき、森林所有者との合意形成に極めて有効であったことの報告。



・岐阜県森林研究所

宇敷京介さん

・岐阜県立森林文化アカデミー

大洞智宏さん

『岐阜県下に植栽したコウヨウザンの初期成長』標高や斜面位置・方位、植生帯等の異なる6つの試験地における早生樹の成長経過や、ノウサギによる食害防止対策の必要性についての報告。

・NPO法人信越トレイルクラブ

大西宏志さん

『信越トレイル苗場山へ延伸』北信地区の関田山脈に開設した全長110キロに及ぶルート開拓について、人と地域を結ぶロングトレ

イルという新たな文化を根付かせていくための地域一体となった取組の報告。

○学生部門(奨励賞)

・信州大学

唐澤亮さん

(協力)北信州森林組合
『DEMデータを活用した高性能林業機械使用基準マッピング』ドローンにより得られた詳細な地形データ等を用いて、高性能林業機械の作業区域の視覚化や導入検討の判断にも活用可能な手法についての報告。

・名古屋大学

弓桁侑季さん

『実生形質の樹種間比較と形質が実生動態に及ぼす影響』愛知県内の森林において19種の本木等の実生の形質を調査し、全ての形質が林内の環境要因と実生の生残に影響があり、特に葉の厚さ及び窒素含有量、比葉面積、根の乾物含有量の4形質が実生の更新に重要であるとの考察についての報告。

※ 詳細につきましては、

以下のQRコードを読み込んでください。



適時的確な施業で山をつくる

林材ライター 赤堀 楠雄



伐期によって育て方を変える

10年ほど前、吉野林業のメツカ、奈良県川上村で吉野の山の仕立てについて、現地の山守に教わったことがあります。

500年もの歴史を有する吉野林業の技術を1日や2日で教わり尽くすことなどできるわけがなく、ほんのさわりだけでしたが、腑に落ちることがいくつもありません。そのひとつが、どのくらい林齢まで木を育てるかによって選木の仕方を変えるということです。

吉野と言えば2000〜3000年にもわたって木を育て続ける超長期の山づくりが有名です。ただし、土壌その他の条件によっては

70年生や80年生で主伐を行うケースもあり、その場合はその時点での収穫量が最大になるように間伐の仕方を考えるのだそうです。その山守は「300年生にまで育てるのは、やり方が全然違います」とさも当然といった風に言ったものです。

間伐は最低限で主伐を重視

大分県の佐伯広域森林組合は、年間原木消費能力が12万m³もある大型製材工場を保有し、その工場に原木を安定供給するため50年生を伐期として主伐再造林を繰り返し実施を行っています。

組合では50年生時点の生産量を最大にすることを目指している。そのため途中の間伐は控えめに、作業道も最低限しか入れられていません。現行の補助制度は間伐材の搬出量が増えるほど補助金が多くなる仕組みになっているわけですが、行政からも、もつと間伐材を出したらどうかと言われたこと

があるようですが、「そんなことをしたら主伐時の成立本数が少なくなつて材積も出なくなる」からと方針を曲げなかつたそうです。

その結果、主伐時の生産材積は平均で600m³にも及び、生産作業の効率が高まるので伐採を請け負う業者も高収益を上げています。中にはふたたび1カ月に1000m³も生産する業者もいるそうで、組合が業者に支払う請負単価が平均3600円/m³ほどということなので、機械の償却費や燃料代などの経費がかかることを勘案しても、かなりの収入を得ていることがうかがえます。

林業は観察の学問

最近、県内で聞いた話ですが、主伐再造林を推進する動きがある中で、一部には過去に間伐をやり過ぎたために主伐時の生産材積が上からず、所有者に十分返金できないケースがあるそうです。

2009年に策定された森林・林業再生プランでは、間伐を繰り返す長伐期施業が推奨され、その数年後には今度は主伐再造林を推進する方針が打ち出されました。

それに翻弄されたということもあるかもしれませんが、私は政

策がどうあろうと、その山にとって最適な施業が何かを自身で判断できる技術を身に付けることこそが重要ではないかと思えます。

国内初の林業科を有する実業学校として1901年に開校した木曾山林高校の初代校長、松田力熊氏は「林業は観察の学問である」との言葉で同校の教育方針を示しました。1903年には3年生の生徒に吉野、北山を含む西方面への16泊17日にも及ぶ修学旅行を敢行させたと記録にあります。

自然をつぶさに観察し、適時的確な施業で山をつくる。山林高校が謳った精神が信州の林業現場に溢れかえることを期待します。



目の前の山林に対して最適な施業を行える技術力を身に付けたい

ドラム缶式精油採取装置の普及状況と今後の展開

はじめに

ドラム缶式精油採取装置(以下ドラム缶装置)について本誌No.377号で概要をご紹介しましたところ、県内で精油ビジネスを始める方々から大きな反響がありました。また同時に課題も見えてきました。

そこで本稿では、ドラム缶装置の概要を改めて紹介したうえで、ドラム缶式装置の普及状況、事業者が抱えている課題や今後の方向性について述べることにします。

ドラム缶(ペール缶)式装置の概要

樹木に含まれる精油は、水蒸気蒸留法により抽出して得られます。粉砕した樹木を密閉容器の中で蒸すと、樹木に含まれる精油分が水蒸気へ溶け出し、その水蒸気を冷却・液化して容器に溜めると精油と蒸留水が分離し、回収することができます。

大型タイプのドラム缶式(写真)の容量は200L、小型タイプのペール缶式(写真)の容量は20L。どちらのタイプも構成部材は全て汎用品とし、製作費はドラム缶式で概ね10万円、ペール缶式で概ね5万円です。

約6時間のドラム缶装置1回の蒸留により、ヒノキの枝葉では最大700mLの精油と約10Lの芳香蒸留水が採取できます(表参照)。

*詳細は林業総合センターHP「ミニ技術情報」を参照してください。



樹種	精油採取量 (ドラム缶装置1回蒸留当たり)
スギ枝葉	150mL~200mL
ヒノキ枝葉	350mL~700mL
アカマツ枝葉	250mL~400mL
カラマツ枝葉	70mL~100mL

表 ドラム缶装置1回蒸留当たりの精油採取量



ヒノキ枝葉精油を使用したアロマキャンドルとヒノキ枝葉精油



ペール缶式精油採取装置

ドラム缶(ペール缶)装置の普及状況

令和3年末時点でのドラム缶(ペール缶)装置の県内での普及状況は、ドラム缶装置を導入した事業者が6名、ペール缶装置を導入した事業者が4名、その他精油ビジネスを計画している事業者が3名の状況です。障がい者福祉施設ではペール缶装置を導入し、障がい者の軽作業(ラベル貼り)による精油生産を開始しました。この精油は市のふるさと納税の返礼品(写真)に採用されています。

また、林業事業体では、伐採したアカマツの枝葉を主原料として精油を生産しています。ここでは精油の販売担当として新たに職員2人を雇用し、将来的には精油ショップの開業を計画しているなど順調な事業運営を行っています。

今後の展開

装置を導入した事業者や精油ビジネスを計画している事業者と懇談したところ、小規模な精油生産者が独自に生産・品質管理、販路開拓までを手掛けることは容易ではなく、県横断的な精油関係者の組織が必要との要望がありました。

組織化が実現すれば、精油の製造・品質管理に関する独自基準を設け、加盟する生産者が基準を遵守することにより製品の信頼性を高められます。将来的には長野県産精油のブランド化も可能になります。

長野県産精油の生産・販売・加工等に取り組んでいる方、又は今後取り組みたいとお考えの方は、林業総合センター特産部、又はお住まいの地域の地域振興局林務課まで情報をお寄せいただければ幸いです。

【林業総合センター】

長野の林業379号の紙面訂正とお詫び

長野の林業379号6ページの「第44回長野県児童生徒木工工作コンクール表彰式を開催」の記事表記に誤りがありました。お詫びし、以下のように訂正します。

【県産材利用推進課】(誤) 【長野県木材青壮年団体連合会】(正)



ドラム缶式精油採取装置



新たな長野県林業士を認定しました

長野県では、令和4年1月25日に、塩尻市にある長野県林業総合センターにおいて「長野県林業士認定審査会」を開催し、新たに7名の方を林業士として認定しました。

林業士は、2年間の研修と審査会を経て長野県が認定する資格です。昭和48年の制度開始以来、これまで559名の林業士が誕生し、地域の山づくりを進めるリーダーとして様々な活動をされています。

長野県林業士認定審査会に、有識者として御参加いただきました菅原聡信州大学名誉教授から、「長野県林業士は山村崩壊を食い止める重要な中心人物です。何とかしよう」と頑張っている地域のひと、積極的に関わってほしいと思います。」とエールの言葉を贈っていただきました。

今回認定された7名の新たな林業士は、これからそれぞれの地域で、地域の山づくりの活動を始めます。皆様にも林業士から地域の山づくりなどに関して、お声がかかる場面があるかもしれません。その際は、林業士と一緒に力を合わせ、豊かな森林の育成にご助力いただければ幸いです。

【信州の木活用課】

令和3年度に認定された長野県林業士の皆様 (敬称略)

氏名	住所
上川 佳祐	佐久市
山本 英介	下伊那郡根羽村
千村 有紀子	木曾郡木曾町
石原 溪介	安曇野市
片岡 一期	安曇野市
原田 岳洋	北安曇郡松川村
木原 貴之	長野市

「緑の募金」にご協力をお願いします。



緑化推進特別強調期間4月1日(金)～5月31日(火)

皆さんからいただいた緑の募金は、身近な環境緑化や、森林の整備、子どもたちの環境教育に役立てられます。

全国を取組としては「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに募金運動を展開しています。

~~~~~公益財団法人長野県緑の基金では~~~~~

長野県が行うSDGs推進企業登録制度の登録企業に向けた募金協力依頼を積極的に行ってまいります。募金いただいた企業へはオリジナルステッカーをお渡しし、企業のSDGsへの貢献のPRとして活用いただけます。



長野駅前での街頭募金活動の様子



公益財団法人長野県緑の基金



長野県労働局長登録教習機関 長野県知事認定職業能力開発校

# 一般社団法人 中部労働技能教習センター

労働安全衛生法に基づく資格取得講習を実施しています

充実した施設、充実した講習

46年の歴史と28万人の実績

中部労働技能教習センターは、昭和49年の設立以来、常設の多目的教習機関としてクレーン及び移動式クレーンの実技教習並びに車両系建設機械、小型移動式クレーン、フォークリフトなど、各種技能講習および特別教育の資格取得講習を実施しています。受講しやすいきめ細かな年間計画により、どなたでも運転資格等が取得できるように、経験豊かな講師陣がお待ちしています。

## 当センターで取得できる主な資格

### 実技教習（免許教習）

- ・クレーン・デリック運転士免許
- ・移動式クレーン運転士免許

### 技能講習

- ・車両系建設機械（整地等）運転
- ・車両系建設機械（解体用）運転
- ・車両系建設機械（基礎工事用）運転
- ・不整地運搬車運転
- ・高所作業車運転
- ・小型移動式クレーン運転
- ・床上操作式クレーン運転
- ・玉掛け
- ・フォークリフト運転
- ・ショベルローダー等運転
- ・はい作業主任者

### 特別教育

- ・クレーン運転
- ・小型車両系建設機械（整地等）運転
- ・ローラー運転
- ・高所作業車運転
- ・フォークリフト運転
- ・巻上げ機（ウインチ）運転
- ・ロープ高所作業
- ・フルハーネス型墜落制止用器具



< 長野県下、4会場で講習を実施しています >

※実施会場が限られている種目があります。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

飯田会場 / 〒395-0154 長野県飯田市下殿岡478-1  
(本部) <https://www.ginosenta.or.jp>  
E-mail: info@ginosenta.or.jp

☎ 0265-25-4444 FAX 0265-25-4455

中部労働技能教習センター



長野会場 / 〒381-1225 長野市松代町東寺尾2681-3  
松本会場 / 〒390-0851 松本市大字島内(小宮)729-1  
佐久会場 / 〒385-0032 佐久市常和1353-1-13

FAX 026-278-9255  
FAX 0263-47-4443  
FAX 0267-78-3935

Webサイト

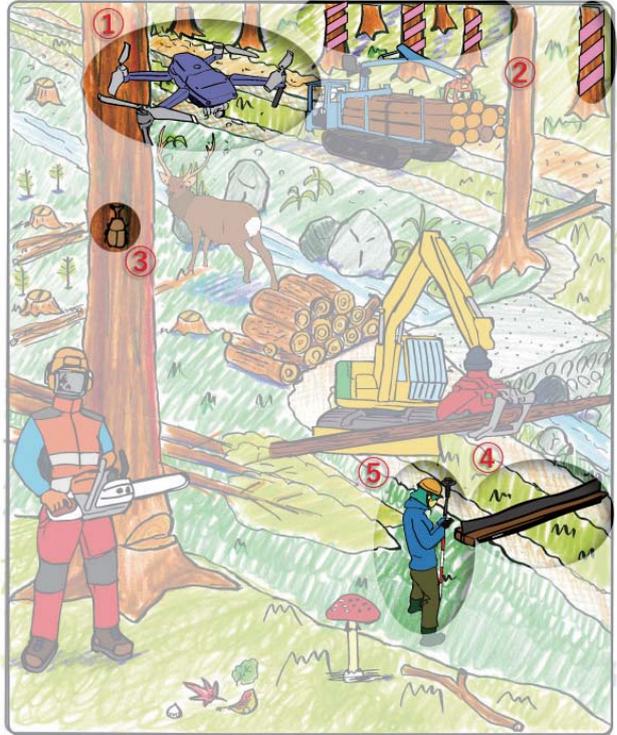
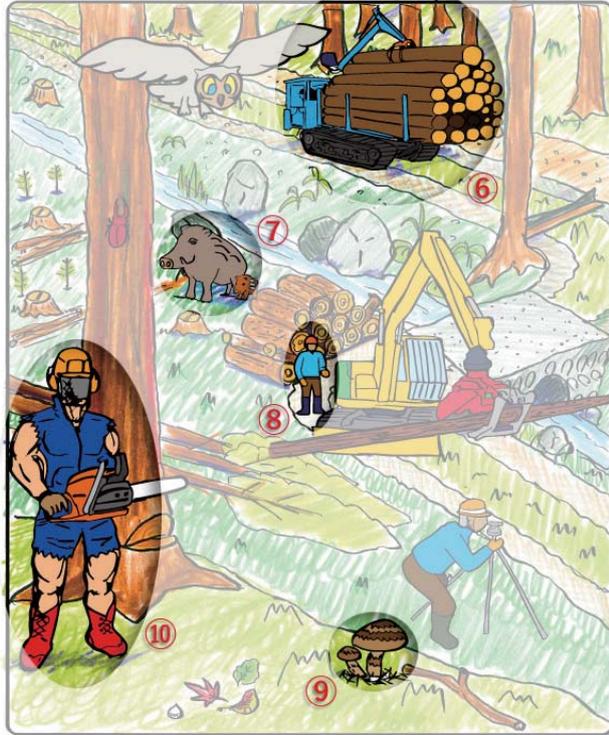


新春特別企画！

こたえと解説

# 林業ちがいがしクイズ

前号 (No.379) に掲載した「林業ちがいがしクイズ」の10個あるちがいを皆さんは見つけられたでしょうか？  
待望の答えと解説です。



## ① フクロウ/UAV (ドローン) が飛んでいる

UAV (ドローン) は、鳥のように空から森林を計測することで、森林資源量の算定や松枯れ病の被害木特定など様々な情報を把握でき、活用が進められています。

また、大型のドローンは苗木や資材の運搬にも活躍が期待されています。



## ⑥ フォワーダーが過積載になっている (左)

危険!! 原木を積み過ぎると、重心が高くなり転倒しやすくなります。また、エンジンやブレーキにも大きな負荷がかかり故障しやすくなります。(安衛則第 151 条 118)

## ⑦ イノシシ/ニホンジカがいる

長野県の山にはイノシシやニホンジカなど野生動物が生息しています。苗木の食害や農作物への被害が問題になっています。彼らが住む奥山の環境を豊かにする森林整備は、人間との共存のため欠かせません。

## ② 熊剥ぎ防止テープが巻いてある (右)

樹皮の下のあま皮を舂めるために、ツキノワグマが爪で木を引っ掻く習性があり、木の腐れや枯れる原因になるため、被害防止として幹にテープを巻いています。



## ⑧ プロセッサの作業半径内に人がいる (左)

プロセッサは枝払いと造材、極積みができる高性能林業機械です。作業している機械の最大リーチの2倍を半径とする危険区域に他の作業者が居てはいけません。(安衛則第 51 条 95, 96)



## ③ クワガタ/カブトムシがいる

どちらも夏の森の人気者ですね！

## ④ 木製路面排水工が設置されている (右)

林道を横切るように埋められたゴム板で流れる雨水を逃し、路面が掘れて壊れないようにしています。



## ⑨ キノコの種類が違う

ベニテングタケ (右) は毒キノコです。

## ⑤ コンパス測量/GNSS 測量をしている

森林測量には方位磁針を使ったコンパス測量が長年使われてきました。近年、人工衛星から送信される位置情報や時刻を測位して現在位置を掴む GNSS 測量が普及し始め、高精度化と省力化が期待されています。

## ⑩ チェーンソー防護衣を着用していない (左)

チェーンソーを使うときはイヤーマフとフェイスガードの付いたヘルメットと振動軽減手袋を着用し、切創を防止する防護ズボンと防護ブーツを着用しなければなりません。認証を受けた製品を選び、劣化した防護衣は使用しないようにしましょう。(安衛則第 485 条) **Class1 認証マーク**





▲会場の様子 ▼会長挨拶



# 令和4年度 長野県森林組合連合会 通常総会開催



令和4年2月25日、長野県林業センタービル（長野市）で、長野県森林組合連合会の第85回通常総会が開催されました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、会場入室時の検温と手指の消毒、出席者全員のマスクの着用等を徹底した上での開催となりました。

当日は、森林組合綱領の唱和、林副会長の開会に続き、藤原会長による挨拶が行われました。

議事は、南木曾町森林組合の藤原和年代表理事組合長を議長に、第1号議案・令和3年度事業報告等から、第11号議案・森林組合系統運動について審議の上、原案どおり承認・決定されました。

## 令和3年度事業報告

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルスの影響を様々な形で受けた一年でした。

県森連でも感染防止対策を実施する中で事業運営を行い、指導事業関係では、改正森林組合法、次期系統運動「J Forest 森林組合ビジョン2030」、3年目を迎えた森林経営管理制度について各種研修会を開催し、森林組合への情報提供に努めました。販売事業では急激な木材需要の増加と取引価格の上昇がありましたが、国産材の安定供給を確保するため、系統のスケールメリットを優位に活かし販売先への交渉を行い、山元への還元拡大を図りました。年間取扱量は24万9千m<sup>3</sup>、取扱高は30億円となり、加工部門も計画を上回る成果となりました。

新技術による森林組合事業の効率化や省力化に寄与するため、高精度GNSSの活用及びUAV測量・解析の組合への支援を継続するとともに、RTK基準局を設置する事業に着手しました。

また、系統の抱える諸問題の解決に向け、国や県への要望要請活動を様々な場で実施し、特に、令和5年3月末に実施期限を迎える「長野県森林づくり県民税」の継続を県へ要請しました。

## 令和4年度事業計画

本年は新森林組合系統運動が実施段階に入ります。県森連としても具体的な取組目標を念頭に様々な事業を展開してまいります。

コンプライアンスやガバナンスの確立、組合事業の充実に資するよう研修会や指導監査を行うほか、情報提供に努めます。

伐採された木材が正当な市場価値を得られるよう他県森連との連携等を通じて有利販売を行っていくとともに、販売システム改良等による業務の効率化に努め、会員への経済的還元を図ります。

林業ICT活用の支援を行い、会員全体の技術や便益の向上と利用環境の整備を図ります。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあります。所謂「ウッドショック」が林業、森林組合の発展や森林整備の充実に向けての好機となるよう努めてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。

※人工衛星を活用した測量（GNSS測量）の精度を高めるための基準点

### 系統利用 優良森林組合

【木材販売事業】  
松本広域・長野  
上伊那・北信州  
北アルプス

【購買事業】  
松本広域・信州土小  
長野・飯伊・佐久



長野県林業職員協会は、市町村や森林組合の林業に携わる職員で構成されており、研修や情報交換の場を設けてスキルアップを図っています。

令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、視察や交流の場が制限される一年となりました。

例年実施してきた基本問題研究会は、9月に木曾地域で新設された木造公共施設を中心に視察を予定していましたが、感染状況の悪化から中止を余儀なくされました。

一方、県大会については10月に上田市の上下小森センターで開催され、令和3年7月から森林環境保全直接支援事業の補助金申請で活用可能となったGNSの研修会とし、実務に直結する内容としました。(長野の林業No.378で掲載しています。)



▲カラマツのボックスにアレンジ



▲キノハナの製作に熱中する参加者  
樹種によって花の仕上がりが変わるのが面白い



▲若手林業ビジネスサミットでは南佐久中部森林組合の「主伐後の再造林～保育10年保証制度」が取り上げられた

また、9月にオンラインで開催された、「若手林業ビジネスサミット」は長野県と福井県が開催地となり、会員から5名が参加し、県内外の若手林業者と交流しました。

さらに、会員の研鑽を積む機会として、新たに「勉強会」を12月に企画しました。北相木村ではじまったカンナ屑から花を作る取り組み「キノハナKINANO」を学び、実際に製作体験をさせていただきました。女性会員も多く参加し、木材の新たな活用方法について知見を深めた一日でした。

令和4年度の通常総会は3月末に開催予定です。



▲各色1本2,890円(送料・消費税込み)から応援購入できる



※ KINOF® は個々の登録商標です。  
KINOF® : 商標登録第 6158292 号、登録日令和 1(2019)年 7月 5日

### スギから生まれたタオルで再造林に貢献 〜根羽村森林組合のクラウドファンディング〜

地球環境を守るためには、森林を守り動植物と共存共栄を進めることが必要です。そのためには森林資源を上手に利用し、伐採後の再造林を確実にこなっていくなければなりません。

この度、根羽村森林組合では山(森林)から恩恵を得るだけでなく、「山に還す」ことをテーマに、伐採後の再造林の資金とすべくクラウドファンディングを行っています。

根羽村内で伐採された50年生のスギをチップで木質チップに加工したものを原料として、木から生まれた繊維「木糸」を使ったタオル「KINOF®(キノフ)」をクラウドファンディング

ングサービス「Make(マクアケ)」内で応援購入を募り、その売上で伐採後の再造林として針葉樹の他、広葉樹も試験的に植栽し、多様な森林づくりを行うとのこと。

「木糸」タオル「KINOF®」は、徳島県上勝町の(株)いりどりで企画され、根羽村森林組合は製造ライセンス契約を締結しています。スギの他、麻や綿といった天然素材でできており、吸水性の良いワッフル生地で作られています。サイズは80cm×35cmのフェイスタオルで、カラーがナチュラル、ブラウン、イエローの3種類用意されています。

商品タグまで全て木糸でできた地球に優しいサステイナブルな商品で、新たな木材利用としても期待されています。プロジェクト達成後の販売展開も検討しているとのこと。

日常生活で使うタオルを木から生まれた「KINOF®」にすることで、森林や地球環境を考えるきっかけにしてみませんか？

受付は3月30日(水)までで、目標金額は20万円となっています。



# 植えようみどり めざせカーボンニュートラル

令和4年度  
国土緑化運動標語

一般社団法人

## 長野県林業センター

理事長 藤原 忠彦 副理事長 水本 豪  
副理事長 宮崎 正毅 常務理事 宮 宣敏

## 長野県森林組合連合会

代表理事会長 藤原 忠彦 副会長理事 林 和弘  
代表理事専務 高田 幸生 常務理事 櫻井 肇

## 長野県林業団体協議会

会長 高田 幸生 副会長 藤原 忠彦  
副会長 宮崎 正毅 副会長 水本 豪

## 長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅 副理事長 麥島 照幸  
副理事長 佐原 良彦 副理事長 宮野尾 宏  
副理事長 都築 透 専務理事 柴田 昌志  
副理事長 新井 藤弘 事務局長 松本 寿弘

## 林業・木材製造業 労働災害防止協会 長野県支部

支部長 宮崎 正毅 幹事長 柴田 昌志  
副支部長 高田 幸生 事務局長 阿部 勝彦

## 信州木材認証製品センター

理事長 宮崎 正毅  
副理事長 鈴木 吉明 専務理事 柴田 昌志  
副理事長 高田 幸生 事務局長 松本 寿弘

一般財団法人

## 長野県林業労働財団 長野県林業労働力確保支援センター

理事長 山口 勝也

「森林・林業の総合アドバイザー」

一般社団法人

## 長野県林業コンサルタント協会

理事長 羽田 健一郎

## 長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

## 長野県森林組合長会

会長 林 和弘

## 長野県山林種苗協同組合

理事長 富澤 修一

## 長野県水源林造林協議会

会長 白鳥 孝

## 長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

## 長野県林業薬剤防除協会

会長 牧 司

損害保険代理店・環境事業計画施工・墓石

## 株式会社 モリレン長野

代表取締役社長 田中 高德  
代表取締役専務 室賀 秀樹

## 宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤 遙



私達も緑化推進運動に協力しています。



# 育てよう 優しい心と 豊かな緑

令和4年度  
育樹運動標語

## 佐久森林林業振興会

役職員一同

## 上小林業振興会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

## 諏訪地域<sup>もり</sup>森林づくり ・林業振興会

役職員一同

## 上伊那山林協会

役職員一同

## 下伊那山林協会

役職員一同

## 木曾山林協会

会長 貴舟 豊 役職員一同

## 松本地域森林林業振興会

役職員一同

## 長野地方緑化推進委員会

会長 山村 弘 役職員一同

## 長野国有林森林整備協会

会長 由井 正隆  
副会長 林 和弘  
専務理事 酒井 省三

長野市大字稲葉字母袋沖 612-2 ☎026-285-9070

## 日本林業土木株式会社

長野出張所 所長 竹内 正比古

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-227-6185

一般社団法人

## 長野県林業普及協会

会長 林 和弘

カラ松日本一を目指します

## 東信木材センター協同組合連合会

小諸市甲字鞍掛 4747

## 信濃化学工業株式会社

代表取締役社長 小野 大輔

長野市桐原 1-2-12

## 瑞穂木材株式会社

代表取締役 宮崎 正毅

下高井郡木島平穂高 3228-1

## 有限会社 高遠興産

代表取締役 林 敏行

伊那市山寺 1558-1

## 平澤林産有限会社

代表取締役 平澤 照雄

伊那市西春近 4105



# 植えようみどり めざせカーボンニュートラル

令和4年度  
国土緑化運動標語

## 南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木 勝 役職員一同  
組合長

## 南佐久中部森林組合

代表理事 黒澤 和夫 役職員一同  
組合長

レストラン 四季の味 樹木里

## 南佐久南部森林組合

代表理事 由井 明彦 役職員一同  
組合長

緑を育て山を守る

## 佐久森林組合

代表理事 山岸 喜昭 役職員一同  
組合長

緑の担い手

## 信州上小森林組合

代表理事 倉沢 明人 役職員一同  
組合長

## 諏訪森林組合

代表理事 藤森 良隆 役職員一同  
組合長

 もりもり上伊那

## 上伊那森林組合

代表理事 白鳥 孝 役職員一同  
組合長



## 飯伊森林組合

代表理事 林 和弘 代表理事 吉澤 悦史  
組合長 常務 役職員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき

## 根羽村森林組合

代表理事 大久保 憲一 役職員一同  
組合長

## 和合森林組合

代表理事 村澤 博光 役職員一同  
組合長

## 木曽森林組合

代表理事 原 久仁男 役職員一同  
組合長

## 木曽南部森林組合

代表理事 坂家 重吉 役職員一同  
組合長

## 南木曽町森林組合

代表理事 藤原 和年 役職員一同  
組合長

## 松本広域森林組合

代表理事 吉田 満男 役職員一同  
組合長

## 北アルプス森林組合

代表理事 割田 俊明 役職員一同  
組合長

## 長野森林組合

代表理事 村石 正郎 役職員一同  
組合長



私達も緑化推進運動に協力しています。



# 育てよう 優しい心と 豊かな緑 令和4年度 育樹運動標語

## 北信州森林組合

代表理事 清水 侃 役職員一同  
組合長

## 栄村森林組合

代表理事 櫻沢 俊一 役職員一同  
組合長

## 南安曇木材協同組合

組合理事長 佐原 良彦  
安曇野市穂高 7940 番地 27

## 齋藤木材工業株式会社

代表取締役社長 齋藤 健  
小県郡長和町古町 4294

## 株式会社飯田総合木材センター

代表取締役 松下 勝彦  
飯田市鼎切石 4367

## (株)中部森林技術コンサルタンツ 長野支店



支店長 長谷川 洋  
長野市大字稲葉中千田沖 2040-2 ☎026-224-8710



一般社団法人

## 日本森林技術協会

長野事務所 所長 油井 章次郎  
長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-217-2660

## 株式会社 柳沢林業

代表取締役 原 薫  
松本市岡田下岡田 774-1

## 株式会社 吉 本

代表取締役 由井 正隆  
南佐久郡佐久穂町大字平林 121

タケムラ

## 竹村工業株式会社

代表取締役社長 鹿養 広司  
下伊那郡松川町上片桐 4604

## 信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環

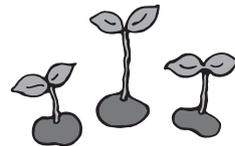


針葉樹合板のパイオニア  
林ベニヤ産業株式会社

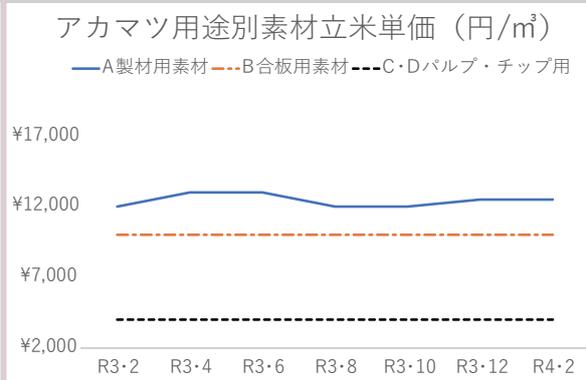
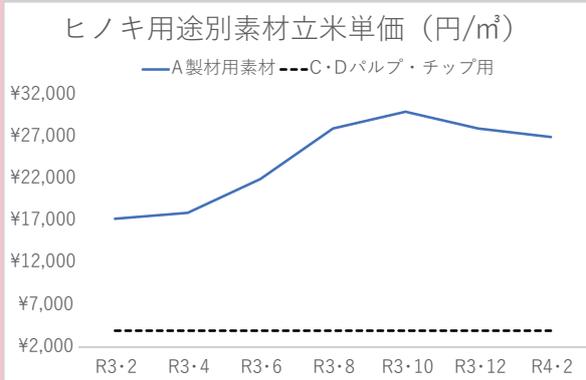
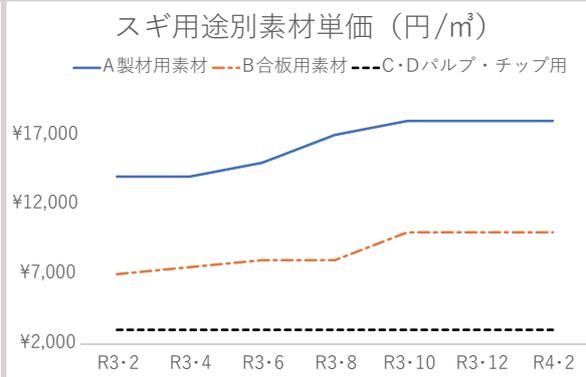
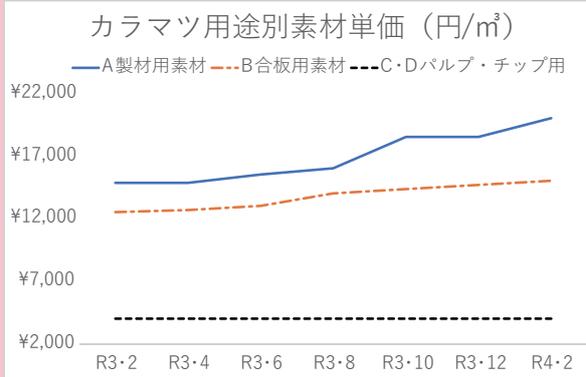
(本 社) 06-6228-1401  
(七尾工場) 0767-52-4376  
(舞鶴工場) 0773-68-0306  
(北陸営業所) 0767-52-4376

## 木曽官材市売協同組合

理事長 勝野 智明



# JForest 長野県の木材市況



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成。

北信木材センターでは2月9日(水)に、中信木材センターでは3月1日(火)に「広葉樹祭り」が行われ、ケヤキ、カエデ、さくら等の大径材やクルミ、エンジュの良質材に応札活発となり高値で取引されました。

ヒノキの柱・土台取りは全般的にピークを超え値下がり傾向となっていますが、スギ、カラマツの製材・合板向けの丸太の不足状況は続いており、値上がり傾向にあります。アカマツは適期を迎え、大径・良質材に高値が付くほか、土木用材にも変わらず需要があります。

市況を随時取り入れ、需要に合わせた仕分け・はい積みをしていきますので、これから伐採、出材を計画されている方は、各木材センターにご相談下さい。引き続き集荷のご協力よろしくお願いいたします。

【当連合会は合法木材に取り組んでおります】

合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号及び伐採地と伐採箇所が記載された納品書及び伐採届の提出をお願いします。

※安全のため、木材センターでの荷下ろし・積込みの際には車止めの使用とヘルメットの着用をよろしくお願いいたします。



▲北信木材センターで高値がついたエンジュ(左)とさくら(右)

県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております!

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください!

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪



長野県森連